

## GKA高等部座談会

指示待ち人間の増加が社会的な問題

- 思考力が育成されていない
- 工夫する力が育成されていない
- 真の学習能力が育成されていない

January,30,2020

知識を教える → 思考力を育てる



マニュアル化



クリエイティブな思考

タイプライターからコンピュータ

変化が早く、予測できない社会  
過去の経験値で生きられない社会  
他者との連携が益々必要な社会  
見せかけの学力 → **本物の学力**

受験のための学習 → 生きる力をつける学習

教科書を覚える	<b>幅広くリサーチ</b>
定期テストが目標	<b>課題学習を重視</b>
同じ内容・進度	<b>スキル・到達度</b>
薄く、広い学習	<b>ポイントを深める学習</b>

受験のための学習 → 生きる力をつける学習

暗記中心の学習	<b>考える力の育成</b>
知識を問う問題	<b>思考力を問う問題</b>
採点が簡単	<b>採点が難しい</b>
努力と記憶力を問う	<b>応用力を問う</b>

受験のための学習 → 生きる力をつける学習

一時的な能力	<b>永続的な能力</b>
使えない学習内容	<b>使える学習内容</b>
マニュアル的人材育成	<b>自ら動く人材育成</b>
自立できない大人	<b>自立した社会人</b>

## ICE(アイス)モデル

ICE(アイス)モデルとは、  
カナダで開発・実践されてきた評価モデルで、

I はIdeas(基礎知識)、  
C はConnections(つながり)、  
E はExtensions(応用)

を意味します。問いに対してどのように答えるかによって、I,C,Eのどの段階にいるかを評価する視点です。I,C,Eの段階に達しているかどうかを評価するための問いは、それぞれ異なるとも言えますが、一つの問いに対しさまざまなレベルで答えることのできるような問いができれば、より望ましいでしょう。

## 学校のための生徒 → 生徒のための学校

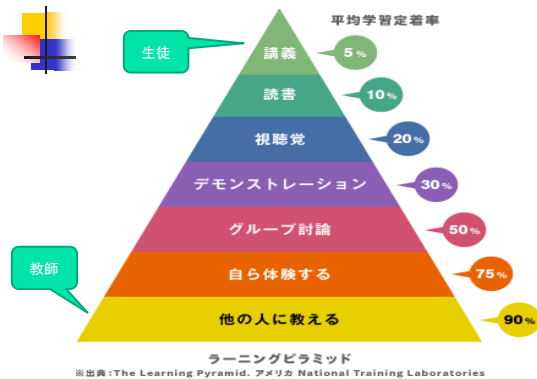


部活動実績  
進路実績(国公立数)

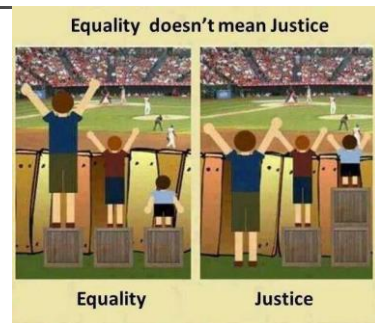


将来の進路実現

## アクティブラーニングについて



## 一律、一斉 (悪平等) → 複線、個別 (個々への配慮)



## 軍隊的教育 ⇒ 農業的教育

勉強は苦しいもの  
の我慢するもの

遊びながら学び  
学びながら遊ぶ

集団に属する個々の  
高い能力が必要

個々の能力、発達  
段階の多様化

スパルタ的教育

教育は「土」なり

## 一般入試への戦略

- 英語力は本校の教育内容で十分対応できる。
- 数学の基礎的な練習を個々で行う。
- 理科は実験に関する問題が増えるので本校の教育内容が有利。多角的に理解する力が必要。
- 社会は考える問題が増えるため、本校の教育内容が有利だが、基礎的な知識は個人で学習する。
- 中学校段階では、思考力の育成を十分に行う。  
大学入試は高校生になってから、それぞれの大学の入試傾向を分析して、学習方法の対策を立てる。